

七滝「水の森」針広混交林化計画

～スギと広葉樹が共存する豊かな森林をめざして～



令和2年2月

1. 美郷町の森林整備計画と地域活性化

美郷町の森林整備の基本方針として、森林の持つ多面的機能の充実と地域林業の育成整備を図り、森林資源の質的向上や安定的木材生産が可能になるように適切な間伐、保育等の整備を推進していくものとしている。また、六郷地区を中心に100カ所以上の湧水が見られるなど地下水が豊富であり、生活用水の一部や観光資源として町民の暮らしに結びついている。この水資源を育む森林を、町民共有の財産として町民の協働の取り組みとして保全推進していく。

・具体的取り組み

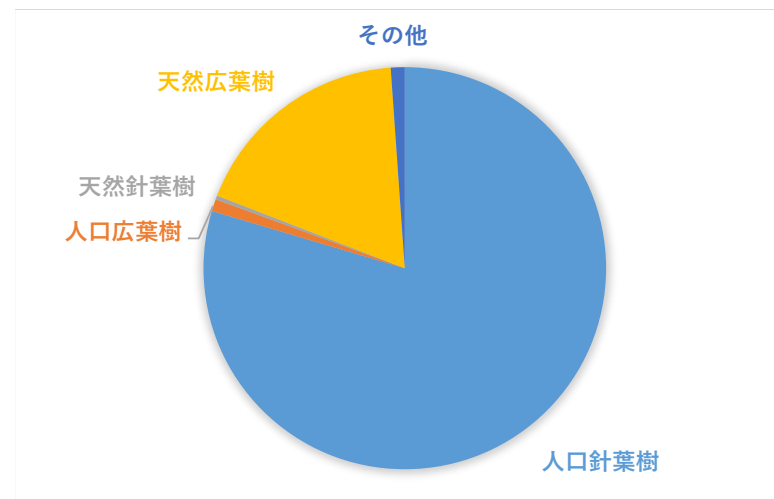
平成27年に町有財産として取得した「七滝山（水源涵養保安林）」を、周辺の町有林を含めた範囲で、針葉樹、広葉樹を織り交ぜた様々な樹種による多様な森林を造成し、水源涵養等森林の持つ多面的機能に資する健全な山林を形成し、「水の郷美郷」のシンボルとなるよう、健康、癒やし、環境教育の場としての森林空間の利用や山菜や薬樹など町独自の森林資源を活用し、観光・交流に資する取り組みを推進する

2. 整備区域内森林資源の現況

(単位：ha・%・m3)

区分		面積	構成比	蓄積
人工林	針葉樹	141.91	79.60	45,717
	広葉樹	1.73	0.97	62
	計	143.64	80.57	45,779
天然林	針葉樹	0.55	0.31	151
	広葉樹	32.11	18.01	4,484
	計	32.66	18.32	4,635
無立木地	伐採跡地	0.00	0.00	
	未立木地（農地）	1.99	1.12	
	計	1.99	1.12	
合計	針葉樹	142.46	80.57	45,868
	広葉樹	33.84	18.32	4,546
	その他	1.99	1.12	0
	合計	178.29	100.00	50,414

(平成 30 年度 秋田県森林簿)



利用区域内の森林資源の構成（針葉樹）

（単位：面積ha、蓄積m）

区分		総数	令級別面積・蓄積																	
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16以上		
立木地	総数	スギ 面積	140.80				1.10	5.51	4.67	9.49	8.48	17.67	48.86	18.11	2.20	8.58	1.25		14.88	
		スギ 蓄積	45,717				84	679	722	2,154	2,054	4,870	15,539	6,928	942	3,815	602		7,328	
		アカマツ 面積	1.66	1.11											0.55					
		アカマツ 蓄積	151	0											151					
		計 面積																		
		計 蓄積																		
	人工林	スギ 面積	140.80				1.10	5.51	4.67	9.49	8.48	17.67	48.86	18.11	2.75	8.58	1.25		14.88	
		スギ 蓄積	45,717				84	679	722	2,154	2,054	4,870	15,539	6,928	1,093	3,815	602		7,328	
		アカマツ 面積	1.11	1.11																
		アカマツ 蓄積	0	0																
		計 面積	141.91	1.11			1.10	5.51	4.67	9.49	8.48	17.67	48.86	18.11	2.20	8.58	1.25		14.88	
		計 蓄積	45,717	0			84	679	722	2,154	2,054	4,870	15,539	6,928	942	3,815	602		7,328	
	天然林	スギ 面積																		
		スギ 蓄積																		
アカマツ 面積		0.55												0.55						
アカマツ 蓄積		151												151						
計 面積		0.55												0.55						
計 蓄積		151												151						

資料：平成30年度森林簿

3. 針広混交林化の意義

- (1) 水源涵養機能、土砂流出防止機能の向上
- (2) 生物多様性の保全
- (3) 景観の向上
- (4) 癒しや環境教育の場としての利用拡大



4. 針広混交林化（計画）の対象森林

- (1) 針広混交林化整備年次計画表・・・【別紙1】
- (2) 針広混交林化整備計画図　・・・・【別紙2】

5. 針広混交林化の目標林形

(1) 高標高地 ブナ型

高標高地に多く出現する針広混交林であり、スギの中にブナを中心としてイタヤカエデなど積雪や寒冷な環境で生育できる広葉樹が混交され、七滝山については、主にこの林形を目標とする。

(2) 低標高地 コナラ型

里山といわれる人里に近い低標高地域に見られる針広混交林であり、スギのほかコナラやクリなどの広葉樹が混交する。

(3) 中間地 ミズナラ型

ブナ型とコナラ型の中間の標高に成立する針広混交林であり、混交する広葉樹はミズナラが主体となり、これにブナの領域やコナラの領域に生育する広葉樹が混交され、整備区域の中腹部ではこの林形を目標とする。

6. 針広混交林化の施業方法

(1) 天然更新

- ①対象樹種：ブナ、ナラ類、ハウノキ、クルミ類、クリ、ケヤキ、サクラ類、カエデ類、トチノキ、シナノキ、センノキ、カバノキ類等の広葉樹であって、将来その林分において高木となりうる樹種とする。

②標準的な方法



[間伐放置林]



[強度間伐]



[針広混交林]

- ③対象事業：森林環境保全整備事業

(2) 人工造林

①対象樹種：ブナ、ホウノキ

②標準的な方法



[皆伐前林]



[皆伐後林]



[植樹]



[広葉樹林]

③対象事業：秋田県水と緑の森づくり事業

7. 作業路網

路網整備としての森林施業等の効率的な実施としては、一般車両の走行を想定する「林道」、主として林業施業用の車両の走行を想定する「林業専用道」、集材や造材等の作業を行う林業機械の走行を想定する「森林作業道」からなる路網と、高性能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業システムに対応したものとする。・・・【別紙3】

